



開催要項あり
チラシあり

令和 6 年 12 月 11 日

市政記者クラブ 様

観光文化交流局名古屋城総合事務所

担当：瀬川、原 電話 231-2481

名古屋城西の丸御蔵城宝館特別展^{おくらじょうほうかん}

「名古屋城と相応寺一家康を愛した女性 相応院の眠る寺」
の開催について

名古屋城西の丸御蔵城宝館では、令和 6 年 12 月 21 日(土)から令和 7 年 2 月 24 日(月・祝)まで、館内展示室において特別展「名古屋城と相応寺一家康を愛した女性 相応院の眠る寺」を開催します。

相応院お亀の方(1573～1642)は、尾張徳川家の基礎を築いた女傑です。最初の夫を失ったあと徳川家康と暮らし、のちの尾張藩初代藩主義直をもうけます。お亀の方は、晩年の家康とともに駿府城で義直を慈しみ、家康が亡くなると剃髪して相応院と号し、名古屋城に入り藩主義直を支えました。寛永 19 年(1642)相応院は没し、翌年、菩提寺として宝亀山相応寺が名古屋城下に建立されました。

相応寺には、義直が描いた相応院の画像が伝えられ、創建時にさかのぼる貴重な杉戸絵も現存します。令和 6 年、それら相応寺所蔵の絵画や仏画・仏像、本堂・総門・山門などが、名古屋市指定有形文化財に指定されました。それを記念し、障壁画を中心とした相応寺の寺宝を公開します。生前の相応院を取り巻いていた、豪華な空間をお楽しみいただきます。

取材をご希望の場合は、開催に先立つ令和 6 年 12 月 20 日(金)午後 2 時から対応できますので、随時名古屋城調査研究センター(tel. 231-2481)までご一報ください。市政記者クラブの皆様方には積極的に取材・広報いただきますようお願い申し上げます。

記

1 名古屋城西の丸御蔵城宝館特別展

「名古屋城と相応寺一家康を愛した女性 相応院の眠る寺」概要

(1) 会期

令和6年(2024)12月21日(土)～令和7年(2025)2月24日(月・祝)
会期中は無休(ただし、12月29日(日)～31日(火)は休館。また、催事等で変更になる場合があります。)

※ 会期中に作品の展示替えを行います。

展示状況は、ホームページ掲載の出品目録にてお知らせします。

(2) 開館時間

午前9時00分～午後4時30分(最終入館：午後4時00分)

(3) 会場

名古屋城西の丸御蔵城宝館内展示室(中区本丸1-1)

(4) 観覧料

無料(別途名古屋城観覧料500円が必要です)

(5) 内容

別紙開催要項をご参照ください。

2 報道機関向け取材対応

(1) 日時

令和6年12月20日(金) 午後2時から会場での対応ができます。

随時名古屋城調査研究センター(tel. 231-2481)までご連絡ください。

※ 解説をご希望の場合は担当学芸員との日時調整が必要となりますので、必ず事前に名古屋城調査研究センター(tel. 231-2481)までご連絡いただきますようお願いいたします。

(2) 場所

名古屋城西の丸御蔵城宝館内展示室(正門入ってすぐ)

(3) 内容

各自でご覧いただくほか、担当学芸員が解説することもできます。展示室内の解説は、30～40分程度を予定しています。解説の前後に各自でご覧いただくこともできます。

以上